

山行報告書

報告書作成

2006.8.19

山名 [山域]	飯豊連峰	目的と方法	イデッポウなど自然観察
登山期間	2006.7.30 ~ 2006.8.2	山行形態	縦走
参加人数	2人		

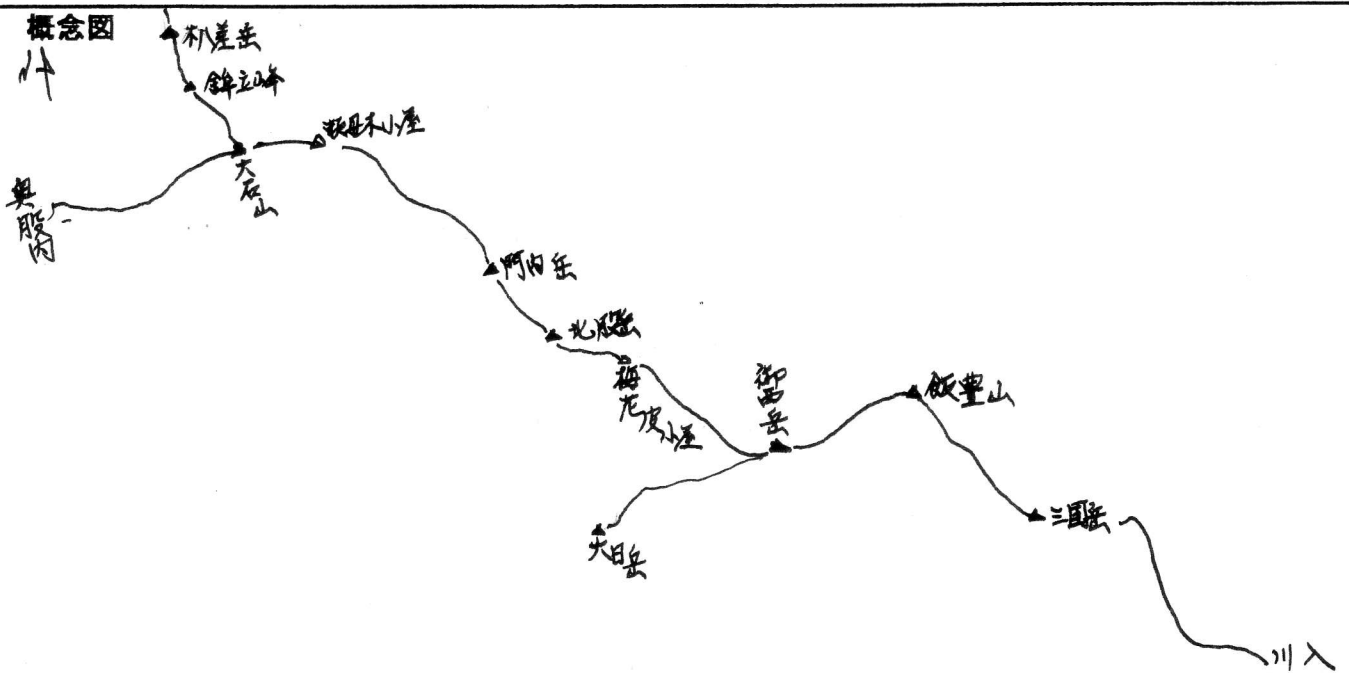
行動記録

7/30 (日) 足ノ松尾根登山口 10:40 - 大石山 15:47 - 頼母木小屋 16:46

7/31 (月) 頼母木小屋外場 5:30 - 鉾立峰 6:37 - 木差岳 7:23 - 頼母木小屋 10:30 - 門内小屋 13:18 - 梅花皮小屋 15:15

8/1 (火) 梅花皮小屋 5:08 - 御西小屋 9:00 - 大日岳 10:20 - 御西小屋 12:15 - 本山小屋 14:23

8/2 (水) 本山小屋 6:00 - 三國岳 9:00 - 横峰小屋跡 11:10 - 川入御沢キャンプ場 13:30



日誌

7/30 晴れ 足ノ松尾根登山口からは美しいアサギが続き、下るとせせらびるが、間もなく急登が始まり、しかもせせらびが続き、木差岳ヒストの敷着がたがひに疲れた下りには少し危険、地蔵石の尾根がある。頼母木小屋外場は広く、水が豊富で快晴である。

7/31 晴れから曇り 木差岳ヒストのヒストの後、梅花皮小屋へ向かう。頼母木小屋はイデッポウの大群落、花の盛りである。門内小屋付近からカスリはじめ、梅花皮小屋付近は視界不良である。この水場は近い。(避難小屋の1/2半ほど)

8/1 カスリ雨のち曇り 昨日の天気図からは予測出来ずから曇り、一面曇りの中、カスリの中、カスリ雨。昨年末から今年にかけての大雪のせいで登山道と雪渓が残っている(雪渓と雪渓の間は5/5) 箇所も多い。大日岳へ向かう頃から雨が本格的に降り始める。本山小屋到着の頃には、降り止んでいない。

8/2 晴れ 本朝の予測ははずれ、大晴天である。三國小屋下の剣ヶ峰の岩稜は、雨天降りに下りに使う場合は要注意である。地蔵山からは地図に載っている「長坂」をひたすら下り、御沢キャンプ場着。相間の縦走が楽しかった。

感想

今年は梅雨明けが遅く、いづれど池かたやまきしんか。三月め以外は大抵とも恵れ、目的の結果はすこぶる出来て良かった。しかし、6年前の花の種類が少なくなっているように思われたのは気のせいだろうか？ 頼母木小屋で出会った地元の方の話をすると、昔は大石山分岐あたりはヒメヤブの群落だったのだか...